

S E R I NEWS RELEASE

平成 26 年 3 月 31 日

一般財団法人静岡経済研究所
理事長 鈴木一雄
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13
アゴラ静岡 5 階
TEL 054-250-8750
FAX 054-250-8770

平成26年3月

「静岡県内中堅・中小企業設備投資計画」調査結果

～計画額は大幅増加、投資マインドも2年連続でプラス～

□静岡県内の中堅・中小企業（320社）の平成26年度設備投資計画額は、前年度比＋20.1%と大幅に増加した。業種別では、金属製品や一般機械器具で老朽設備の更新投資が、輸送用機械器具で生産性向上のための機械導入の投資が増えるなど、製造業が＋24.8%とプラスに転じた。また、非製造業は、営業車両などの更新を計画する卸売業や、建物の改修を予定するホテル・旅館業などの増加計画を受け＋17.5%と2年連続の増加見込み。

□企業の設備投資マインドを示す設備投資S.I.は、全産業で4.0と、昨年3月調査（2.3）に続き、2年連続のプラスとなった。

担当：梅原加奈子

定例調査

平成26年度「静岡県内中堅・中小企業設備投資計画」調査

前年度比+20.1%と、設備投資計画額は大幅増加 ～投資マインドも2年連続でプラス～

26年度設備投資計画の概要

製造業・非製造業ともに2ケタの伸び、投資マインドもプラス

平成26年度の全産業（320社）の設備投資マインドは、4.0と2期連続のプラスとなった（図表1）。投資計画額も前年度実績見込比+20.1%と、大幅増加した。16業種中13業種で増加を見込んでおり、本年1月に施行された「生産性向上設備投資促進税制」による優遇制度や景気の回復基調を背景に、全体的に設備投資に対する前向きな姿勢が感じられる。

投資マインド——「前年と変わらない方針で実施する」が37.0%で最も多いものの、「ある程度前向きに実施する」（31.9%）と「積極的に実施する」（6.4%）を合わせると4割近くに達し、投資マインドを示す全産業の設備投資S.I.（Survey Index）は4.0と、昨年3月調査比+1.7ポイントの上昇となった（4頁図表3）。業種別では、製造業が6.7、非製造業が1.3と、ともにプラスを維持した。

業種別——業種別の投資額でみると（図表2）、製造業は前年度比+24.8%と、大幅なプラスに転じた。老朽化した設備の更新などを目的に金属製品（+234.8%）や一般機械器具（+93.1%）で大きく伸長したほか、生産性向上のため最新機械の導入を計画している輸送用機械器具（+53.9%）、建物の維持・補修を予定しているパルプ・紙・紙加工品（+66.7%）なども増加を見込む。

また、非製造業も前年度比+17.5%と、2年連続で増加した。全業種でプラスとなり、なかでも、営業車両や情報機器の更新を計画している卸売業（+81.0%）や、一部で建物の大規模改修を予定しているホテル・旅館業（+105.1%）などの伸びが目立つ。

図表1 設備投資S.I.（投資マインド）の推移（各年3月）

